

実例

命運を推す際に必要な事項は、性別、生年月日と正確な出生時刻、そして出生地である。出生時刻が不明である場合があるが、そうした時は、経歴とか父母・兄弟のことを何点かうかがい、過去の事象から逆に出生時刻を推定するための資料とすることになる。年月日時四柱が揃わなければ、命を推すことは出来ない。

人の生年月日時間をこうした場所で公表すると、プライバシーの問題が発生してしまう。だから、生時が確かであっても、なかなか実例を挙げることは難しい。そこで、プライバシーの問題がないわけではないが、すでに亡くなられた有名人をあげざるを得ないことになる……。

次は、ほとんどの方がその経歴をご存じであろうと思われる有名人の四柱八字である。しかし、書籍とかに述べら

れていることをここで述べても重複になるだけなので、子平ならではの視点から、一般に知られていないようなことを探し出して述べることにする。

マリリン・モンロー（本名ノーマ・ジーン・モーテンセン）
1926・6・1 午前9時30分 ロサンゼルス総合病院

大運

丙寅	8歳	壬辰
癸巳	18歳	辛卯
辛酉	28歳	庚寅
癸巳		

右は、わずか36歳（昭和37年）で多くの謎に包まれたまま亡くなられた女優マリリン・モンローの四柱八字である。外面的な華やかさとは裏腹に、28歳頃から睡眠薬を常用し始め、その私生活は惨憺さんたんたるものであったようである。

父親との縁が薄いこと、酒が強いこと、また、酒に溺れやすいこと、そして、豊満な肉体の持ち主であること、髪の毛が豊かであること、等々は四柱八字からも明らかであ

る。しかし、四柱八字から知り得ることと彼女の印象との間に大きなギャップを感じる点がある。それは性格である。「実例」

右の八字からすれば、彼女は愛嬌をふりまいたり、人に媚びを売るようなタイプではないのである。どちらかと言えば、理知的な性格と言えるのである。セックス・シンボルと言われるような役割性格を身につけ始めたのは、18歳に大運辛卯になってからであろうことは、四柱八字からも推察することが出来るが、世間に女優マリリン・モンローとして与えている印象は、彼女にとっては、あくまで生活の糧を得るために作り上げた、偽りの自分なのである。死の七、八年前頃から自分のことを三人称で呼び始めたのも、真実の自分の時間より虚構の自分の時間の方が長くなつたことの苦しみの現れではないかと思えるのである。銀幕で脚光を浴び、自分ではない自分を演じ続けなければならなくなつたことが、彼女の人生における、すべての不幸の原因ではないかと推察できるのである。

なお、マリリン・モンローの出生時刻、および経歴については、「参考文献」および「リンク」に掲載しているサ

イトによった。是非訪問し、ご覧になってください。

「実例」

次は、平成十年、最も話題になった方の生時を類推したものである。現存ではあるが、ここに掲げることにした。

林眞須美 昭和36年7月21日 推定生時 和歌山県生

大運

辛	丑	6	丙申					
乙	未	16	丁酉					
乙	卯	26	戊戌					
丁	亥	36	己亥					
		46	庚子					
			37	歲	戊寅	年	逮	捕

和歌山県でヒ素殺人および保険金詐欺事件を起こしたとされている林眞須美の四柱八字である。

カツとしやすい性格であること、立て板に水のようによくしゃべること、保険金詐欺については知能犯であること、といった点から右の生時であるかと推定した。

生家は網元で豊かな方であったということだが、父母ともに子供の教育にはあまり熱心ではなかったであろうと思

われ、やや家庭環境に複雑さを感じる。

また、現在のよつな体型になり始めたのは、26歳以降で、それまでは細身の方であったであろう。

まだ罪が確定したわけではないが、毒入りカレーの実行犯であることはほとんど間違いないところだろう。問題は、なぜ彼女が保険金詐欺から始まり、殺人事件まで引き起こしたか、である。

保険の勧誘員の頃、成績がトップで、いわゆるやり手であった。適職にめぐり会い、十分に能力を発揮したのだ。もともとプライドが高く、それに金銭的・社会的評価が伴ったため、自分の考えたとおりにやれば間違いない、といった気持ちを徐々に強くしていったと思われる。そして、仕事の中で保険金を詐取できることを知ったため、犯罪に手を染めるが、自分がやればバレることはない、という自信があったのである。自分はそんなドジは踏まないとい。実際、十数年の間、成功し続けた。

大運が36歳から己亥に入った。日干乙木は亥中の壬水から生じられ、日干はさらに強くなって、調和が崩れる。

こうした大運に入ると、見込み違い、先行きの見誤りを

起こす。上手の手から水が漏れることになる。そして犯罪
が発覚することになったのである。長い間、やることなす
ことうまくいっていたため、カレーにヒ素を入れても、ば
れるわけがない、と信じていただろうと想像できる。感覚
が麻痺してしまっていたのだ。人が死ぬことになるという
点については、全く意識がなかったのではないだろうか。
「実例」

つまり、今回の事件は、林眞須美の人生が破綻する時に
起こったことと言える。が、本人の問題のみでは済まず、
全く関係のない人を巻き込んでしまった。亡くなられた方
にはお悔やみを言うにも適当な言葉が思い浮かばない。

林眞須美と同じ四柱八字の人が、おそらく全国に何人が
いることであろう。その人は今どうしているか、疑問がわ
くのではないかと思う。

子平で言えるのは、林眞須美が事件を起こしたのとほぼ
同時期に、病気のような身体的問題ではない問題で、本人
にとっては大変不本意な出来事に遭遇しているであろうと
いうことのみである。これがある意味では子平の限界であ
るし、逆に生年月日時間のみで、これ以上のことを論じる
ことは不可能であろうと思われるのである。占い屋さんな

ら、何もかもお見通しであろうが……。

では、今回の事件のほか、どのような具体的な出来事が予想されるかと言うと、例えば、交通事故を起こして人を死傷させるとか、仕事上の長年積み重ねてきたごまかしが発覚し、法的問題になっていたりとかいったことである。いずれにしても何らかの社会的な制裁を受けていると思う。

「ヒ素、保険、夏祭り、カレー」は、林眞須美にのみ与えられた環境であって、同じ四柱八字であっても与えられた環境が異なれば、起こす問題は違ってくるのである（Q & Aのコーナーでこの点詳しく説明してあります）。四柱八字の中に「ヒ素を扱うことになる」などと言った情報は含まれていないのである。

本文を最後までお読みいただきありがとうございました。